

経営比較分析表（平成28年度決算）

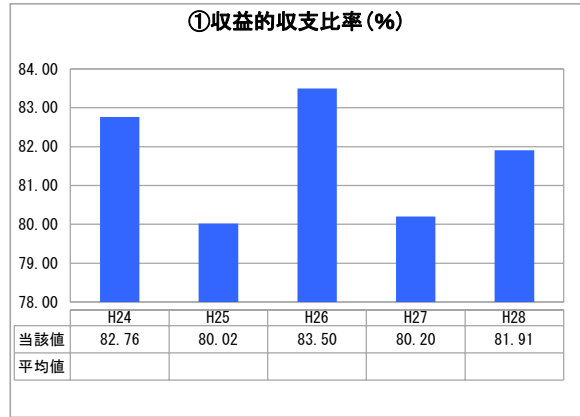
広島県 安芸高田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.38	91.70	3,348

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,773	537.75	55.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,717	2.71	2,109.59

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

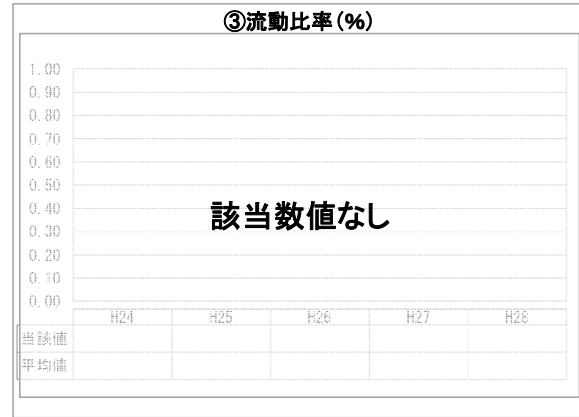
1. 経営の健全性・効率性



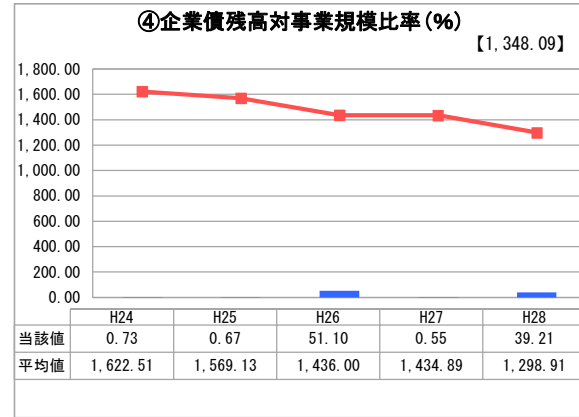
「単年度の収支」



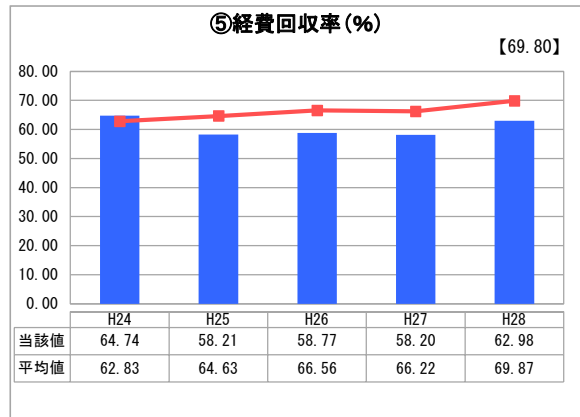
「累積欠損」



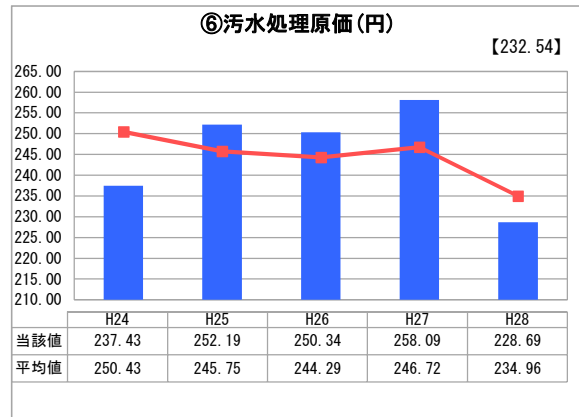
「支払能力」



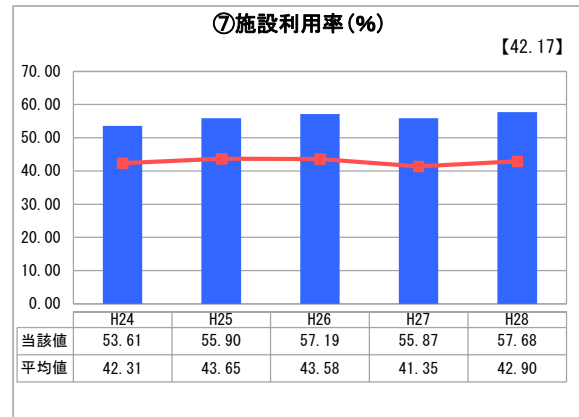
「債務残高」



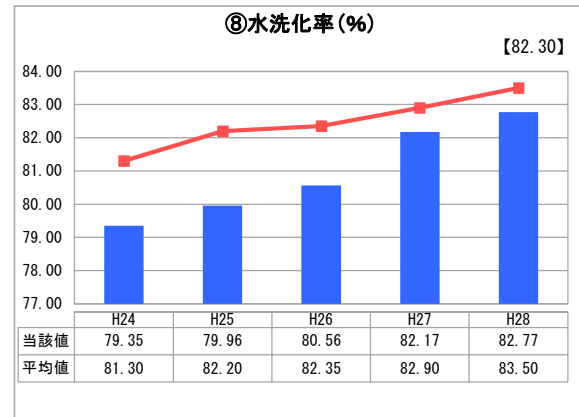
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

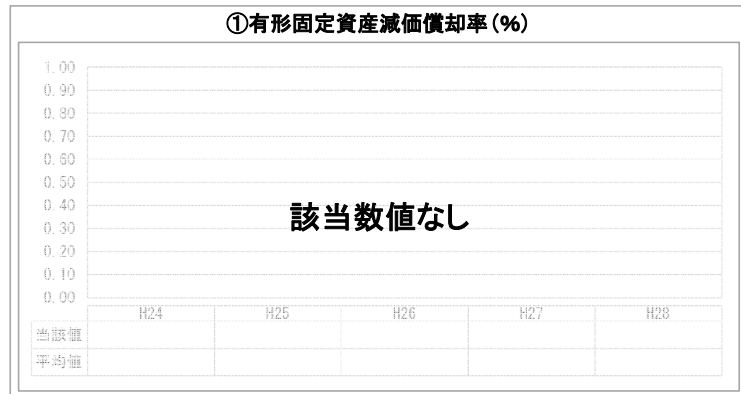


「施設の効率性」

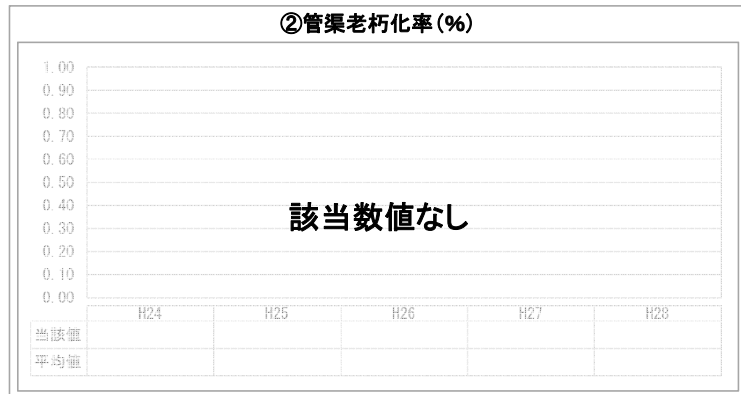


「使用料対象の捕捉」

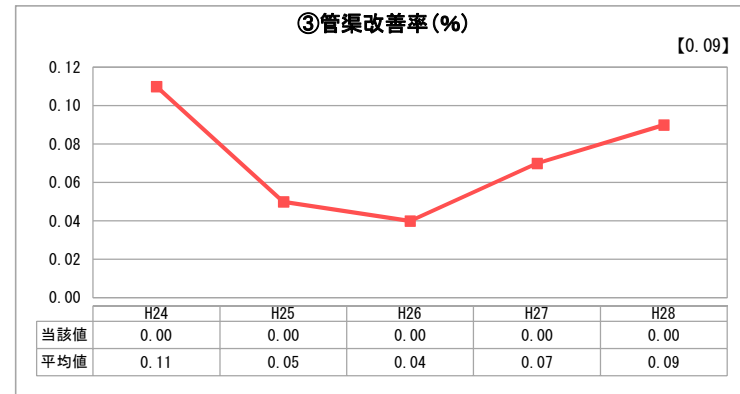
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

単年度の収支を表す「①収益的収支比率」はH28年度は81.91%と大きな変動は無く収支比率は80%台を推移している。
 使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した「⑤経費回収率」と、施設や設備が一日に対応可能な処理能力に対する一日平均処理水量の割合を表した「⑦施設利用率」は、処理区域内人口の減少及び中山間地域特性の住居が点在していることから、新規設置は少なく前4年と同様に横ばい状態である。
 有収水量1m³あたりの汚水処理に要した費用を表す「⑥汚水処理原価」は、維持管理費等が減少したため前年比-30円となった。
 現在処理区域内人口のうち実際に水洗便所を設置して汚水処理している方の割合を示す「⑧水洗化率」は、H28年度は82.77%と増加傾向にあるが、処理区内の設置と人口減少のバランスからなるものが要因と考えられる。

2. 老朽化の状況について

供用開始が平成6年度であるため、現在大規模な施設の更新時期は迎えていない。
 今後は地区ごとに長寿命化計画・ストックマネジメント計画を策定し、計画的な更新を実施していく必要がある。

全体総括

平成28年度に策定した経営戦略に基づき、経営の健全性と効率性を高めるため、使用料改定による使用料収入の確保や加入促進による水洗化率の向上を進め、また施設については計画的な施設更新や維持管理を実施していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。